

神戸市少年団登山教室活動（7月13日）報告

2024. 7. 15

1. 参加者 教室生 26名 岳連理事等 12名 大学生ボランティア 1名

2. 記録 天気：曇り

午後 0:45 神戸登山研修所 教室生集合

1:00 3階大会議室で本日の活動の注意（特に熱中症の注意をする）の後、
A、B班（各13名）に分かれてクライミング体験を実施

(A班：ボルダリング（2階）、

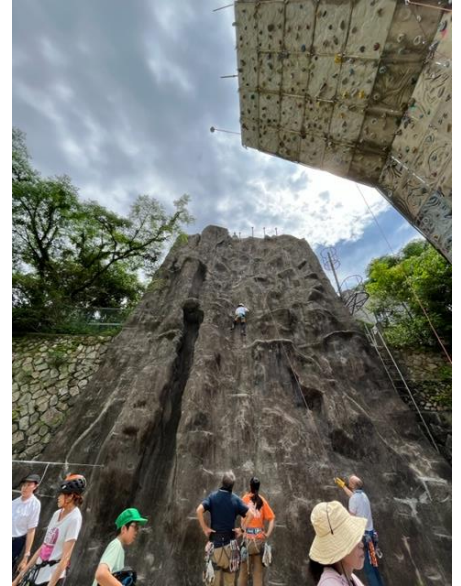
B班：ロープクライミング（屋外）)

2:10 A、B班のクライミング体験交替

3:10 クライミング体験終了

3:30 座学「山の救急医療」（3階大会議室）

4:10 座学終了後、閉会のまとめをして解散



3. 配布物 レジュメ（山の救急医療）、
安全登山ハンドブック、
山岳遭難セーフティーカード

4. 活動内容 当初は座学、クライミング体験の順番のプログラムを予定していた。しかし、この日の午後3時頃から雨予報のため順番を入れ替えて先にクライミング体験をして後に座学を実施した。

5. 感想 登山教室活動の途中から雨が降る予報が出ていたので座学とクライミングの順番を入れ替えた。結果的には雨も降らず予定通りでもできたが順番を入れ替えたことで雨の心配をしなくて済んだのは良かったと思う。ただ、クライミングでは登る体験そのものだけでなく会場の移動やクライミングシューズ、ハーネスの装着の時間もあり時間が予定よりかかってしまった。そのため座学の時間が少なくなり準備していたプログラムの一部しかできなかったのが残念だった。

今回、最も注意を払ったのは熱中症対策だった。この日は曇り空で太陽も顔を出していなかったが蒸し暑さはかなりだった。ボルダリング



はエアコンの効いた屋内でするので心配はないが屋外のロープクライミングは暑い中で体験するので対応が必要だった。作業用の大型扇風機2台、タープ、経口補水液、麦茶、氷、塩タブレットなどを準備。子供達にはクライミング体験前、体験中に給水の注意を促した。幸い体調を崩す子供もなく全元気にクライミングに挑戦した。



クライミング体験は初めての子供も多く、高い壁を見て「登れるかな」と最初は心配そうな顔をしていたが登り始めると夢中でホールドに足を掛け、手を伸ばして壁を登っていった。「(クライミング壁のパネルの) 7枚目まで登った」と得意げな表情の子供もおれば、登るコツがつかめず悪戦苦闘する子供もいた。人工岩壁の方ではヘルメットをかぶって高い壁をグングン登る子供もいた。みんないい顔をしていた。

次回の9月13日(土)はまだまだ暑い日が続いていると考えられるので次回も暑さ対策に引き続き注意を払いたいと思う。(文責 大西)